

『ざくろのような』

脚本 中村ノブアキ

登場人物

野間敏也 (38) 山東電機・リーダー
蔦賢一 (38) 山東電機・サブリーダー
中野豊 (42) 山東電機・副部長
鈴木朱美 (39) 山東電機・副部長
広重樹生 (47) 山東電機・部長
大下由麻 (28) 山東電機・社員
山崎真矢 (40) 松川電器・室長
宇部大悟 (35) 松川電器・課長
張軍 (チャン・ジュン) (47) 海米 (ハイミ)
雷瑞敏 (レイ・ルエミン) (42) 海米 (ハイミ)
楊正非 (ヤン・ツェンフェイ) (40) 海米 (ハイミ)
益子かおり (28) スカウト
野間典子 (38) 妻
蔦芙紗子 (38) 妻
小出聡志 (63) スタッフ

【オフィス】と【ラウンジ】が混ざり合った舞台。

【オフィス】
伝統ある電機メーカー山東電機次世代電池事業部のリーススペースである。個人ワークにもミーティングにも使用する大きな会議テーブルが真ん中にある。端には社員が休憩できるコーヒースペースがあり、談笑したりする。部屋の奥は電池の研究開発室と繋がっており、専用服に着替え出入りしなければならぬ。個人の執務室は別の場所であり、社員はそこそこを行ったり来たりする。またラストシーンにおいてこの場所は中国の新興電機メーカー海米（ハイミ）となる。

【ラウンジ】
別空間としてホテルのカフェラウンジが存在し、山東電機の社員は待ち合わせなどでここを利用する。

これは初春のとある1週間を、時空間を自在に飛びながら描いた物語である。

0場【オフィス】金曜日

初春のとある金曜日。
広重は悩んでいる。超真剣に。
中野も何やら考え込んでいる。
2人の様子はとても重い。
鈴木、大下は仕事をしている。
野間は開発室に入っているが、やがてフリースペースに入ってくる。

緊張感がしばし続いた後、重い口を開く。

広重 うーん、なんでかな・・・なんでだと思いませんか？

中野 私の考えを言っていていいですか？

広重 もちろん。言ってください。

中野 バックスイングがアウトから入りすぎなんじゃないですか？

広重 バックスイング？

中野 （ゴルフスイングしながら）クラブがアウトからインに抜けるとスライスしますから。

終業のチャイムが鳴る。

広重 なるほど。その視点はなかったです。バックスイングね。（スイングしながら）ってことはもう少しこっちに振るってことですか？

中野 いやいやまだ引いて大丈夫ですよ・・・ああそのくらいいいんじゃないですか。で、トップから思いっきり腰を回していく感じで振ってください。

広重、フルスイング。

中野 ナイスシヨです。

大下 お疲れ様です。

と言って退社する。

広重 なるほどこういうことか。

中野 基本はあくまでインアウトインですから。中野副部長、ナイスアドバイス。最近、ドライバーのスライス病が直んなかったんですよ。明日のコンペ、今の感じでトライしてみます。

中野 頑張ってください。

鈴木 野間リーダー、大日化成の請求書、あなたのデスクに置いてくわね。
野間 大日化成？
鈴木 水酸化ナトリウム購入したでしょ？
野間 そうでした。
鈴木 じゃあとよろしくね。
野間 お疲れ様です。

鈴木、退社する。

広重 中野副部長。
中野 はい。
広重 タイタニックは観た方がいいですよ。
中野 あ、はい。

そこに蔦が入ってくる。
出張帰りらしく、トランクを引きずりながら。
なんだか戸惑った表情。

広重 お帰り。
蔦 ありがとうございます。
中野 どうだった？ P M 2・5。
蔦 相変わらずですよ。それより今、ここに来る途中、聞いたんですけど・・・来週、松川の人間が来るって本当ですか？
広重 今朝の部会でみんなには伝えたんですが、松川電器のプロジェクト担当が我々と話をしたいそうです。
蔦 ・・・リストラですか？
中野 馬鹿言っちゃいかんよ。社長も言ったろ。松川電器と提携するって言っても、山東電機の上場とブランドは維持されるって。つまり松川は、金は出すが、口は出さないって言ってくれたんだ。
蔦 普通逆ですよ？ そんな虫のいい話があるってホントに思ってるんですか？
中野 うちは天下の S A N T O だぞ。確かに今は苦しいけど、我々には世界一の技術がある。蔦 サブリーダーもわかってると思うが、こ

広重

ここで開発されたりチウムイオンバッテリーが世界中の電気自動車に搭載される日も近い。松川もそれがわかってるから助けてくれたんだ。その心臓部であるこの部署を、我々をどうにかするわけないだろ。ですよね？部長。

その通り。仮に何か言われたとしても私らが守りますから、君たちは何も心配しないでいいです。とにかく今は野間リーダーに従って世界最小の車載バッテリーの開発に邁進してください。いいですね？

廣 蔦

・・・わかりました。

廣 重

それじゃ私はこれで失礼します。

中 野

お疲れ様でした。

廣 重

明日、軽くスイング）頑張ってください。

中 野

ありがとうございます。

廣 重

お疲れ様です。

廣重、退社する。

廣 蔦

ホントに口は出さないって思いますか？

中 野

まあ出すだろうな。

廣 蔦

え？だってさっき。

中 野

廣重部長がああ言ったんだ。そう言わざるを得んだろ。

廣 蔦

・・・。

中 野

T O Bで我が社の株50・2%が松川に買

廣 蔦

れることになった。親は子供に言うことを

中 野

聞かせるもんだ。

廣 蔦

放任主義の親もいます。

中 野

松川さんはどっちだろうね。じゃあお先。

廣 蔦

お疲れ様です。

中 野

中野、退社する。

中野、退社する。

廣 蔦

野間はどう思うんだよ？

野 間

何がだよ？

廣 蔦

松川の言いなりになるのかってことだ。

しばし間。

鳶

ひと言で言えばエネルギーかな。活力？バ
イタリテイ？とにかくあの執念はすさま
じいな。会社も人も。

野間

なるほど。

ハイミのブースが一番デカかったんだけ
ど、奴らのメインストリームは、リン酸鉄
リオンだ。皮肉にもバッテリーのエネルギ
ー量は低い（笑）。

野間

・・・実は明日、ハイミの人と会うんだ。
へえ、あそう。なんでハイミと？

野間

もしかしたら相談することになるかも。
え？相談？野間が？珍しいな。

野間

まあ。

野間

なんだよ。なに話すんだよ。ハイミと。

野間

ああまあ週明け言うよ。

野間

・・・そう・・・まだ仕事？

野間

ああ。まだちょっと。

野間

じゃあ先帰るわ。

野間

お疲れ。
お先。

と云って帰ろうとする背中に向かっ
て、

野間

鳶。

野間

ん？

野間

あのさ、もし鳶がタイタニックの乗組員だ

野間

ったとして、船が氷山にぶつかりました。

野間

さて鳶ならどうする？

野間

ええ？なにそれ？心理テスト？

野間

そう。心理テスト。

野間

それでなにがわかんのかよくわからんが、

野間

そうだな、俺だったら・・・こっさり逃げ

野間

るかな。船内がパニック状態になる前に、

野間

脱出ポート使って先に逃げるよ。

野間

（苦笑）なるほどね。そりゃ賢い。

野間

野間は？

野間

え？

野間

野間だったらどうすんだよ。

野間

俺か？俺な。俺は・・・どうすんだろうな。

・・・。
野間 少なくとも逃げはしないかな。やりたいことがある以上は。
野間 さすがだよ。

野間 野間、そのまま退社する。
野間 仕事の続きをし始める野間。
野間 やがてデスクへ。

一場【ラウンジ】金曜日

野間 野間がラウンジに入ってくる。
野間 そこに野間が入ってきて座る。

野間 待った？
野間 野間 ううん。私も今来たところ。
野間 助かったよ。タクシーで帰ろうと思っていたから。

野間 野間が入ってくる。

野間 いらっしやいませ。
野間 と言って水を置く。

野間 アイスコーヒー。
野間 野間 私は・・・アイステイ。
野間 小出 ミルクとレモンとございますが？
野間 野間 じゃあミルクで。
野間 小出 かしこまりました。アイスコーヒーとアイ
野間 2人 スミルクテイでございますね？
野間 小出 (口々に) はい。
野間 少々お待ちください。
野間 と言って去る。

野間 野間 何買ったの？南部デパートで。
野間 野間 椅子。
野間 野間 椅子？

芙紗子 お義母さん、「腰が痛い痛い」って言うって
たじゃない？
薦 うん。
芙紗子 それで腰にやさしい椅子を買いました。
薦 ヘー。どんなの？
芙紗子 ダイニングチェアなんだけど、どっかの教
授が開発協力したって書いてあったから、
たぶんいい椅子だと思う。すごく座りやす
かった。
薦 それは母さんも喜ぶ。きつと。
芙紗子 実は野間さんの奥さんがね、薦めてくれた
の。それがいいんじゃないかって。
薦 典子さんが？
芙紗子 この前、ばったりスーパーで会ってね、お
茶したのよ。
薦 ヘーあそう。
芙紗子 典子さん、工作中、ずっと座りっぱなしな
んだって。
薦 フリーのプログラマーだからね。ずっと座
ってる仕事だよ。
芙紗子 だから椅子が重要だって話をずっと熱く
語ってた。
薦 (笑)それは説得力がある。
芙紗子 でしょ。私も買うしかないって思っ
て。．．．それでその時間いたんだけど、
薦 典子さん、相当稼いでるんだって。
芙紗子 (苦笑)え？そんな話もしたの？
薦 だって「すごく忙しい」って言うから、「だ
ったら稼いでるんじゃない？」って思わず
言っちゃったのね。そしたら否定もせず、
「うち、旦那より稼いでるから」って言っ
たのよ。
薦 え？あそう。ヘー、典子さん、そんなに稼
いでるんだ。
芙紗子 すごいよね。自分のスキルだけで稼げる人
って。
薦 羨ましい？
芙紗子 ううん。全然。
薦 そうだよな。
芙紗子 うん。

薫　でもあの2人、まったく使うことに興味ないから。

芙紗子　わかる。そんな感じ。

薫　ブランドにも興味なし。食べることに興味なし。2人とも仕事潰れだから、旅行に行く暇もない。子供もいないし。お金、貯まる一方じゃないかな？

芙紗子　ええええ？美味しいごはんにも興味ないの？

薫　たぶん。

芙紗子　そんな人生、私は無理。使うためにお金はあるのに。

薫　・・・あ、でもこれからは少し節約した方がいいのかも。

芙紗子　え？なんで？

薫　・・・会社の業績がね。今、あまりよくない。

芙紗子　そうなの？

薫　うんまあ。

芙紗子　でも潰れることはないんでしょ？天下の山東電機さんだから。

薫　まあたぶん。

芙紗子　なら大丈夫。私別に贅沢したいって思ってるわけじゃないから。

薫　（笑）

芙紗子　あ、でも・・・

薫　なに？

芙紗子　春休みの京都旅行は絶対行きたい。だって晁もすぐく楽しみにしてんのよ。

薫　（苦笑）わかったよ。

転換。

二場【ラウンジ】土曜日

益子、登場して椅子に座る。
益子のスマホが鳴る。

益子　（電話）はい益子です。

野間、電話に応えるが姿は見えない。

野間 (袖から)野間です。フロントに着きました。

益子 (電話)ではフロントの向かいにカフェラ

ウンジがあると思うんですが、そこに入ってももらえますか。中二階の窓際の席にいます。

野間 (袖から)中二階の窓際。

益子 (電話)グレーのスーツです。

野間、入ってくる。

野間 (電話)(益子を見つけて)あ、わかりました(切る)。

益子、スマホを切る。

野間、近付き、向かいに立つ。

益子 (立ち上がり)お待ちしてました。

野間 益子さんですか？

益子 はい。(名刺を差し出し)エージェントの益子です。初めまして。

野間 (名刺を差し出し)山東電機の野間です。頂戴いたします。

2人、椅子に座る。

益子 すいません。休日に呼び出して。

野間 いえ。

益子、スタッフを呼ぶ。

小出が来る。

益子 なんにします？

野間 じゃあコーヒーで。

益子 コーヒー2つ。

小出 ホットでよろしいですか？

野間 はい。

益子 はい。

小出　ホットコーヒー2つでよろしいですね？
益子　はい。
小出　かしこまりました。

小出、去る。

益子　電話でもお伝えしたように、私はあくまで

ハイミのエージェントであって、ハイミの

社員ではありません。

ハイミの人も来るんだと思ってました。

こういう場にクライアントが直接来るこ

とはありません。あくまで我々エージェン

トが代理で交渉に当たります。

日本人なんですね。

中国メーカーは日本のエンジニアを求め

てます。なので私たちみたいな存在が必要

なんです。

なるほど。

ご存じの通り、ハイミは山東電機と違い、

若い、これからのグローバル企業です。何

より開発への投資を惜しみなくしていま

す。つまり野間さんが好きなかだけ研究開発

できる環境ということですよ。

好きなかだけ使えるんですか？

予算はあってないようなものだ聞いて

います。

大丈夫なんですか？私が心配することじ

やないですけど。

中国人はハイリスクハイリタインの国民

性です。じゃなきや10億人の中でのし上が

ることなんかできません。

へえ。

年俸も今の・・・

小出がコーヒーを持ってくる。

コーヒー2つ、お持ちしました。

小出、コーヒーを置いて去る。

2人、それぞれのペースで飲み始める。

益子 年俸も今の倍を用意します。

野間 倍？

益子 はい。倍の2千万です。特許レベルの開発に成功した時はさらにプラスします。

野間 2千万にプラス？

益子 はい。研究所は本社のある青島ですが、住むところはこちらで用意します。えつとご家族は確か・・・。

野間 妻一人。子供はいません。

益子 であればお2人で5LDKの高層マンションにお住いになれます。

野間 すごいですね。

益子 リチウムイオンポリマー二次電池の量産に成功した野間さんに私たちは注目しました。

野間 どうもありがとうございます。

益子 野間さんは今の待遇に満足していますか？

野間 待遇ですか？

益子 それに黒船が来たことでもますます肩身の狭い思いをしていくんじゃないですか？

野間 会社がどうなるのか私にはわかりません。それに興味もないです。

益子 でもこれまでのような自由はなくなると思います。

野間 そうなりますかね？

益子 間違いないようになります。松川さんの創業者は「金太郎飴で何が悪い」が口癖でしたしね。

野間 ・・・中国よりよっぽど共産主義だ。

益子 (笑) 確かに。

野間 ちなみに周りのスタッフはどういう人たちですか？

益子 北京大学や清華大学を首席で卒業したエリート中のエリート集団です。

野間 でも若いんですよね？

益子 はい。経験値は今のチームには及ばないかもしれませんが。

野間 同期もそんなこと言ってました。
益子 同期って、蔦さんのことですか？
野間 はい。あそうです。
益子 コンビで開発してきたそうですね。
野間 私の開発作業はほとんど彼が絡んでます。
蔦がいなかったらうまく行ってなかった
こともたくさんあります。
益子 信頼してるんですね。
野間 絶大な信頼をしています。

しばし間。

益子 では蔦さんにも一緒に来てもらうってい
野間 うのはどうでしょう？
益子 え？
野間 野間さんと同じ条件っていうわけにはい
きませんが、でもそれに近い条件をハイミ
側に飲ませることは可能です。説得する自
信はあります。野間さんが絶大な信頼をし
ている方であれば交渉は可能だと思っ
らです。
野間 蔦も一緒に？
益子 ええ。つまり今と同じチームで、好きなだ
け開発費を使っただけという環境になり
ます。

益子、去る。
小出、コーヒーを片付ける。

三場【オフィス】月曜日

蔦がオフィスに入ってくる。
野間も続いて入る。

蔦 まさかそれ言うために朝早く呼んだの
野間 か？
蔦 そう。いい話だと思わない？
野間 思わないね。
蔦 え？

山東の技術力だ。松川なんか足元にも及ばないって。

野間 見返してどうすんだよ？

野間 納得させんだよ。好きなようにさせろって。

野間 好きなようにできんならハイミに行く理由はない。だろ？

野間 まあ、そうだな。

野間 俺が野間を全力でサポートする。なあ、断

野間 ってくれ。

野間 ・ ・ ・

野間 ・ ・ ・

野間 好きなようにできるんだな？

野間 リーダーを支えるのがサブリーダーの仕事だ。

野間 わかったよ。

野間 2人で松川を見返してやろう。

野間 広重が入ってくる。

野間 おはようございます。

野間 (口々に)おはようございます。

野間 ここにいたんですね。席に居なかつたんで遅れてくるのかと思ってました。

野間 部会始めますか？

野間 はい。松川電器の人も来ますから。

野間 わかっています。

野間 鈴木が入ってくる。

野間 おはよう。

野間 (口々に)おはようございます。

野間 野間リーダーどう？まとまった？

野間 はい。なんとか。

野間 と言って、報告書を鈴木に提出する。

野間 ありがとう。あとで読んでおくね。(鳶に)

野間 どうだったPM2.5？

野間 (笑)それですか気になんのは？ええまあ

野間 ひどいときは10メートル先も見えなかつ

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

野間

鈴木

たです。経済成長もいいけど、人間らしい生活がしたいなって改めて思いました。私もどうも好きになれないのよね中国。なんかがむしやらかな気がして。平気で著作権無視するでしょ。ありえないっていうか。出張ならいいけど、転勤とか言われたら速攻辞めるわ。

薫

鈴木副部長もそう思いますか？

鈴木

ええ。なんで？

薫

いえ。何でもありません。

広重

その前に私が鈴木副部長を異動させませんよ。

鈴木

ありがとうございます。

中野が入ってくる。

山崎、宇部が続く。

中野

こちらです。

山崎

ありがとうございます。

中野

広重部長、大下さん、病院寄ってくるそうです。

広重

そうですか。では山崎室長、次世代電池事業部はこれで以上です。

山崎

そうですか。わかりました。

鈴木

でも最近少し多すぎると思いませんか？病院立寄り。

広重

大下さんですか？

鈴木

ええ。最近ちよっと多くなって気になってたんです。

広重

私は妊婦になったことがないのでなんとも言えませんが。

中野

なったことがあったら怖いですよ（笑）。あとで私から大下さんに話を聞いておきます。

鈴木

よろしくお願いします。えっとご紹介

広重

しますね。松川電器の山崎室長と宇部課長です。山東電機が松川グループの一員として

相応しくなるためにどうすればいいの

か、私たちにご指導いただく方です。で、

よろしんですよね？

山崎 はい。初めまして。松川電器人事部統合プロジェクト室の山崎です。そして。
宇部 宇部です。よろしく願いいたします。
山崎 よろしく願います。どうぞ、お掛けください。・・・まず初めに統合プロジェクト室のミッションからお話します。統合プロジェクト室は今回のような新たなグループ会社に対して、松川電器のビジョンやDNAをお伝えして、より強いグループに進化させることがミッションです。そのためグループ社員である皆さんのお話をお聞きし、ワークスタイルやキャリアパスの観点からどうしていくのが会社と個人がwinwinの関係になれるかを考え、アドバイスしていくことになります。私と宇部がこちらを初めとした開発部門を担当します。ですので、これからしばらくこちらにお邪魔する日々が続きます。・・・今回の件で色々思うところもあるでしょうし、不安に思っていることあるでしょう。しかし私たちはそういったメンタルな部分も含め、ケアして、ベストな提案を会社にしていくつもりですので、思うところがあればすべてお話しいただきたいと思います。ありがとうございます。・・・さて、ここまでで何か質問ありますか？・・・よろしいですかね？・・・まあ質問を思いついたら遠慮なく随時お聞きください。ではこれからしばらくの間、どうぞよろしく願います。

山東社員 (口々に) よろしく願います。

四場【ラウンジ】火曜日

山崎、宇部が入ってくる。
宇部、資料を見ながら。

【オフィス】ではそれぞれ仕事をしたまま。

山崎 どう思った？

宇部 かなり警戒されてますね。
山崎 当然ね。それから？
宇部 この2人。
山崎 ああ。
宇部 明らかに戦力外だと思えます。
山崎 2人はこの部署に必要ないでしょう。
宇部 異動させますか？

【オフィス】 月曜日

中野 (広重に) 土曜日、どうでした？
広重 (首を横に振る)。
中野 あれ？ダメでした？
広重 スライスが直ったと思ったら今度はフック。全然飛びませんでした。

【ラウンジ】 火曜日

山崎 飛ばすのもね。受入れ先があるとも思えないし。あの年じゃどうにもならないでしょう。
宇部 リストラですか？
山崎 なるべくそっちの方向で。
宇部 ちよつと可哀想な気もしますけど。
山崎 何度も言うけど、この仕事に同情は禁物。
2人 松川が傾けば。
宇部 明日は我が身かもしれない。
山崎 わかってますよ。でもそんなうまくいきませいかね？労働組合がなんか言ってくるかもしれない。
宇部 管理職に労組は関係ないから。
山崎 あそうか。そうでした。

小出が登場する。

小出 ホットコーヒー2つ、お持ちしました。

と言ってコーヒーを置いて去る。

山崎 中野副部長を利用しましょう。

宇部 山崎 中野副部長から説得してもらおうんです。自主退社してもらおうに。

宇部 山崎 自主退社？それを中野副部長から？

宇部 山崎 松川がリストラを進めてるってわかれば、山東電機全体の士気に関わるでしょ。モチベーションを下げることなく、会社をスリム化させる、それが私たちのテーマ。いい？

宇部 山崎 ・・・わかりました。

宇部 山崎 上2人以上に大事なことは、この2人を辞めさせないこと。

と言って立ち上がる。

【オフィス】月曜日

野 蔦 (記録紙を野間に見せ) H2の値だ。
野 間 放電容量225パーグラム。リチウムより30パーも高い。電圧1.55は変わらないのに。こりやすくないな。

野 蔦 低温合成法のおかげだよ。

野 間 ナトリウムがいいんじゃないかって言ってくれたからだ。

野 蔦 このまま進めるか？

野 間 もちろん。今度は正極にマンガン使って試してくれ。

野 蔦 マンガン？

野 間 ああ。マンガン酸リチウムだ。

野 蔦 なるほど。わかった。

野 間 鈴木副部長。

野 蔦 さん？

野 間 今、話していいですか？

【ラウンジ】火曜日

続いて宇部も立ち上がる。

山崎 2人を絶対に放さないこと。これを第一プライオリティとして考えましょう。

宇部 松川グループの未来が2人に掛かってるわけですね。
山崎 正確に言えば、野間リーダーを辞めさせないために薦サブリリーダーが必要ってこと。そこは間違えないように。
宇部 はい。具体的には？
山崎 野間リーダーの要望を極力聞くこと。不満を抱かせないようにケアしましょう。
宇部 わかりました。
山崎 ただし薦サブリリーダーは管理職に向いている。将来、グループを率いる人材として私は期待しています。
宇部 なるほどですね。女性2人はどういう方針でいきますか？

大下、オフィスに入ってくる。
お腹が大きく辛そう。

山崎 もう少し様子を見ましょう。
宇部 リストラの可能性はありますか？
山崎 何とも言えない。ただ、うちは今、女性管理職を増やす方針でしょ。そういう意味で格好の広告塔になりうるかもしれない。
宇部 能力よりも対外的な施策として評価するわけですね。
山崎 そう。リケジヨのあこがれとしてね。

【オフィス】月曜日

この時までには男性社員はここにいない。

鈴木 大下さん。
大下 はい。
鈴木 ちよっと。
大下 はい。

大下、鈴木横に来る。

鈴木 今朝はどこ行ってたの？

大下 え？連絡入れたはずですけど。
鈴木 私は今、質問をしているの？どこに行っ
たんですか？

大下 病院に行っていました。産婦人科です。
鈴木 毎週行っているようだけど、そんなに行く必
要あるの？

大下 え？どういう意味ですか？

鈴木 今、7か月目よね？

大下 はい。そうですけど。

鈴木 ネットで調べただけ、7か月目の健診
って2週間に1回程度って書いてあった
の。

大下 はあ。

鈴木 毎週行く必要があるの？

大下 疑ってるんですか？

鈴木 そうじゃないけど。いい？私だって大下さ
んに元気な赤ちゃん産んでほしいって思
ってます。でもちよっと甘えすぎじゃない
かしら。

大下 甘えてなんかいません。

鈴木 妊婦だったら許されると思ってたら大間
違いよ。

大下 病院の方針なんです。毎週来るようになって。
鈴木 違ったら病院を変えてください。

大下 え？

鈴木 今、うちがどういう状況かわかってる？こ
こで踏ん張んなきゃ山東電機の看板がな
くなるの。新製品開発に遅れを取るわけに
いかないのよ。私は大下さんに期待して
るの。だからもっと仕事にコミットしてほ
しいの。

大下 してます。仕事。確かに前ほど時間を掛け
ることはできなくなりましたけど、できる
ことは精一杯やっています。教授も
それでいいって言ってくれています。

鈴木 野間リーダーが？

大下 はい。手抜きをしているつもりはありません。
鈴木 じゃあせめてもう少し残業してくれる。

【ラウンジ】火曜日

宇部 鈴木副部長をリクルート対策に担ぐわけですね。賛成です。

山崎 え？

宇部 山東社内では彼女は評判がいい。実績も上げてるし、いいと思います。

山崎 私が言ったのは大下さんの方。

宇部 大下さん？まだ若いし何の実績も上げてないの？

山崎

今の女子学生に産か仕事かどっちかを選ぶという考えはない。出産も、仕事も、バリバリこなすのがこれからの女性。鈴木副部長は独身。女子学生の憧れにはならない。

宇部 そういうもんなんですネ。

山崎 鈴木副部長は女子社員から煙たがられる

宇部 タイプでしょうね。毒女とか言われて。

山崎 毒女？

宇部 独身女性のこと。毒はポイズンの毒。

山崎 はあなるほどですね。

【オフィス】月曜日

この時までには大下が1人になっていく。

大下 アラフォー毒女、こえ〜。

【ラウンジ】火曜日

小出が登場し、2人を不思議そうに見ている。

小出 何かありましたでしょうか？

山崎 あ、いえ。外を眺めていただけです。

宇部 桜ですか？

小出 はい。あと2週間もしますと一面、桜色に変わります。

宇部 いいですね。

小出 ぜひそのときまたお越してください。
宇部 はい。

小出、去る。
2人、着席する。

山崎 じゃあ今話した方向で。

宇部 はい。

山崎 大変な仕事だけど、やりがいはあると思うから。

宇部 前は採用にいたんで受け入れる方でした

が、今度は人を切る立場になるんですね。

彼らもそうでしようけど、私も不安です。

山崎 大丈夫。この仕事、慣れることはないから。

宇部 え？

山崎 不安なのは私も一緒。

2人、そのまま去る。

小出 (袖から) ありがとうございます。

小出、コーヒ―を片付ける。

片付け終わったら、去る。

五場【オフィス】水曜日

中野が入ってくる。

野間が入ってくる。

野間は手に開発依頼書を持っている。

野間 中野副部長、これは一体どういうことですか？

中野 だからそこに書いてる通りだよ。

野間 ここに書いてることが何なのかは読めば

わかります。私はなんでこれを受けたのか

って言ってるんです。

中野 営業要請だから決まってるんだろ。

野間 いくら営業要請でも受けていい仕事と受

けちゃいけない仕事があります。

中野 受けちゃいけない仕事ってなんだよ？

野間

野間 中野 これ（依頼書）です。
だからお前は自分勝手だって言われんだ
よ。金になる仕事を断る理由はない。

野間 あります。うちは今、世界最小の車載バッ
テリーに資源を投入しきってます。こんな
ものを開発する時間も人もありません。
こんなものって言っちゃいかんだろ。営業
さまがせっかく持ってきてくれたメシの
タネだ。

野間 中野 だからそういう余裕がうちには、
なかったら余裕作れよ。野間リーダーなら
1ヶ月もあれば開発できんだろ。

野間 中野 まさか今の仕事を1ヶ月遅らせると？
そうだ。そんなまだ金になるかわからん開
発に時間を掛けるくらいなら、確実に稼げ
る仕事を先にやってくれ。

野間 中野 この世界、1ヶ月の遅れが命取りになるこ
と、中野副部長、よくご存じですよね？
そんなに言うんなら2つの開発を同時に
やってくれ。

野間 中野 同時って。
車載バッテリーの開発が今重要なのはわ
かってる。でも、それ以上にその開発も重
要なんだ。いいか。俺たちは学生じゃない。
サラリーマンだ。会社に貢献する義務があ
る。大人になってくれ。

野間 中野 蔦が入ってくる。
今まで開発室にいたようだ。

野間 中野 2つの開発を同時って。

野間 中野 どうしたんですか？

野間 中野 ああまあ。

野間 中野 何かありました？

野間 中野 営業から開発依頼が来た。それを野間リー
ダーにお願いしただけだ。

野間 中野 開発依頼？車載バッテリーの開発で忙し
いときに？

野間 中野 大至急だ。

野間 中野 なんなんですか？

野間

糞みたいな仕事だよ。

と言って開発依頼書を鳶に渡す。

野間

（読んで）ヤマノ電機の格安スマホ？
OEMだと。SANTOブランドならともかくPBのバッテリー開発をやれだど。これは安いな。

野間

スペック削って安く卸せってさ。そんな開発、小学生でもできる。質の悪いグラフィックを使えばいいだけだ。

野間

そんな単純じゃないだろ。PBとは言え、安全性は担保しなきゃいけないし。

中野

鳶サブリーダーならわかってくれるよな。この依頼を受けなきゃいけない事情。

野間

ええまあ痛いほど。

中野

営業だって必死なんだよ。山東を潰さないように。ヤマノ電機のPBってことは数万

野間

台の売り上げが保証されるってことだ。頼む。野間リーダー、引き受けてくれ。

野間

なんで俺が……。
山東電機の社員だからだ。

野間

確かに今、量販店の格安スマホが売れている。いいもの作って売れば金回りがよくなって、開発費の予算が増える、かもしれない。野間、前向きに考えよう。

野間

増えるもんか。もっと安いバッテリー作れって言われるだけだ。

野間

今はバッドシナリオを想定すべきじゃない。これが売れて開発費の予算が増える、グッドシナリオを想定しよう。

野間

グッドシナリオ？ドリームシナリオだろ。野間。

野間

早くて2ヶ月。普通なら3ヶ月はかかる案件だ。それでもそれをやれと？

野間

3ヶ月？そんなに？

中野

野間リーダーなら1ヶ月あればできる。できるかもしれないませんが、できないかもしれない。できなかつたら、3ヶ月車載バッ

野間 中野
テリーの開発がストップするんです。リーダーとしてその判断はできません。

野間 中野
（薫に）来年3月に完成させるスコープ組んだよな？今まで俺が遅れたことあったか？

野間 薫
・・・。
だったら今はそんなことよりも、やるべきことをやろう。

野間 薫
3ヶ月？6月になるってことか。
来年3月を目指して取り組むのが開発リーダーである俺の責任だ。6月じゃない。

野間 薫
3月だ。サブリーダーなら従ってくれ。

野間 薫
・・・。
リーダーを支えるのが、サブリーダーの仕事なんだろ？

野間 中野
そうは言っても会社は今、大変な時なんだ。3月まであるかどうかともわからない。だったら今取るべき選択はすぐ金になる仕事だ。

野間 中野
わかりますが、なんでそれを俺がやらなきゃいけないんですか？他にいないんですか？

野間 中野
他の部署でやってくれるなら私も断った。でもその開発はうちじゃないとできない。そう判断したから引き受けた。そういうことだ。

野間 中野
私だって会社のことを考えて意見してるつもりです。車載バッテリーの開発に成功すれば、いや絶対成功するんです。

野間 中野
言いたいことはわかる。でも今、この会社を救えるのは野間リーダーしかいない。

野間 中野
・・・。
副部長の私がお願いしている。野間リーダー、薫サブリーダー、よろしく頼む。
・・・野間。・・・野間。

そこに山崎と宇部が入ってくる。

山崎 お疲れ様です。
中野 ああ、お疲れ様です。
山崎 ちよっといいですか？
中野 ああ・・・。
野間 わかりました。
中野 そっか。ありがとう。
野間 俺がリーダーを支える。
野間 ・・・・。
野間 え？私ですか？
山崎 はい。あ、この後なんかありました？
中野 いや帰るだけでしたけど。
山崎 だったら10分、15分、いいですか？
中野 あはい。

と言って椅子に座る。

山崎 いや、ここじゃなくて、外でお茶しませんか？
中野 え？外？・・・なんですか話って。嫌な予感しますけど。
山崎 いやいや中野副部長にとって悪い話じゃないです。ただちよっとここじゃなんなので。
中野 わかりました。
山崎 ありがとうございます。
中野 じゃあ頼むな。
山崎 はい。(宇部に)あとよろしくね。
宇部 はい。行ってらっしゃい。
山崎 すいません。仕事終わりに。
中野 あいや大丈夫です。

と言いながら、2人、退社する。

宇部 どうかしましたか？野間さん。・・・具合悪そうですね。
野間 悪くもありません。
宇部 え？
野間 ハイスペックを開発しろって言われたり、ロースペックを開発しろって言われたり。なんなんですかね、会社って・・・宇部課

宇部 長に愚痴ってもしようがないことはわか
ってますが。
宇部 そんな。気にしないでください。・・・差
支えなければ、その、何を言われたのか教
えてもらえませんか？

2人、顔を見合わせ、怪訝な顔。

宇部 山東電機はうちのグループ会社になりま
す。ですから今後はお互いの開発案件を、
それぞれ共有していこうっていうのが経
営側の方針です。

宇部 開発を共有するんですか？

宇部 はい。ライバル関係じゃなく、仲間として
一緒にの船に乗ろうっていうわけです。

宇部 一緒にの船？

宇部 開発部門も？

宇部 そうです。・・あ、でも経営統合されても、
この次世代電池事業部はそのまま維持継
続されると思います。

宇部 そうなんですか？

宇部 ええ。まあそらく。

宇部 賢明な判断だと思えます。

宇部 ですよ？それで、あの、共有させてもら
えませんか？

宇部 上からこの開発をやれと言われました。

宇部 と言って、開発依頼書を宇部に渡す。

宇部、それを読み始める。

宇部 なるほどですね。これを開発しろと？

宇部 それがうちの現状です。1年後の栄光より、

宇部 明日の飯が重要なんです。

宇部 明日の飯が食えないと、1年後の栄光もな
いだろ。

宇部 鳶はどっちの味方なんだよ？

宇部 どっちとかそういうことじゃないだろ。強
いて言えば山東の味方ってだけだ。

野間 そんなこと言ったら俺も一緒だ。山東復活の近道は、そんなことに時間を掛けないことだって、なんでわかんないんだよ。
野間 宇部課長の前ではやめよう。
野間 今さら何言ってるんだよ。
野間 (苦笑) 事情はよくわかりました。
野間 すいません。
野間 いえ。

しばし間。

野間 2人とも山東電機が大好きなんです。自由に開発させてくれる会社ですから、僕たちみたいな人間にはやりがいがあるっていうか。
野間 ・・・。
野間 いいですね。そんなこと普通なかなか言えませんよ。
野間 でもご存知の通り、最近はなかなか好きなようにさせてもらえなくて。
野間 なるほどですね。
野間 はい。
野間 あの、私の提案、聞いてもらえますか？
野間 提案？
野間 はい。この開発、うちが引き受ければいいんです。
野間 松川さんが？
野間 そうです。松川電器がこれをやるんです。もちろんその後の製品化は御社がやることになります。
野間 親会社が子会社に部品を供給する？そんなことありえるんですか？
野間 確かにこんなこと言ってできなかつたら申し訳ないんですが、ただ私も上から、お2人の研究開発を全力でサポートしろと言われてますから、決してありえない話ではないと思ってます。
野間 ・・・。
野間 ホントですか？

宇部

うちの技術が受けてくれればの話なんで、私の権限では何とも言えませんが。でも仮にダメだったとしても他のグループ会社に打診して、引き受けてくれるところを全力で探してきますよ。

野間

さすが松川電器。助け船が来た。

宇部

無理難題はみんなで解決しましょう。それがグループ経営最大のメリットです。

野間

じゃあ、今のプロジェクトをそのまま進めていってことですね？

宇部

私が責任もって広重部長・中野副部長を説得します。大船に乗ったつもりでいてください。

野間

ありがとうございます。

宇部

それじゃ早速会社に戻って聞いてきます。コピーいただいてもいいですかね？

鳶

・・・(依頼書を受け取る) ちよっと待っていてください。

宇部

ありがとうございます。

鳶、開発依頼書を手に部屋を出る。

宇部

野間リーダーはなんで山東電機に入ったんですか？

野間

唐突ですね・・・なんですかね。改めて聞かれると困りますね。

宇部

そうですね？

野間

でもさっき鳶サブリーダーが2人とも山東電機が大好きって言ってましたけど。

野間

(苦笑) そうですね。

宇部

どこが好きなんですか？山東電機の。私みたいなわがままエンジニアを採用してくれたとこです。

宇部

なるほどですね。私は好きなことだけをやりたいタイプですから。

野間

確かにそれはわがままですね。

宇部

でもその分、技術開発を成功させてきたわけです。結果、会社も潤ったはずですよ。

宇部　　そうですね。・・ただ会社側からすれば、それはギャンブルです。だって野間さんの好きなことが会社の利益と結びつくか管理してないんですから。さすが松川電器。やっぱり管理は重要ですか？

宇部　　そりゃあ会社ですから管理は重要です。好き勝手やっていいなんてありえませんが。まそりゃそうですね。

宇部　　会社は株主のものですから。

野間　　・・・そうですね。

　　蔦が戻ってくる。

蔦　　（コピーを渡し）どうぞ。
宇部　　ありがとうございます。では早速行ってきます。

野間　　よろしくお願いします。

宇部　　任してください。それじゃ失礼します。よろしくお願いします。

　　宇部、退社する。

野間　　蔦。
蔦　　ん？
野間　　俺は山東電機が好きなのじゃない。
蔦　　え？
野間　　蔦は誤解している。俺は山東電機が好きなわけじゃない。
蔦　　誤解？
野間　　ああ。俺はこの環境が好きなのだけだ。
蔦　　そうか。
野間　　ああ。

　　野間は開発室へ。
　　蔦は別部署へ。

【ラウンジ】水曜日

　　山崎が入ってきてきて椅子に座る。

山崎のスマホがバイブする。

山崎

（電話）例のカフェラウンジにいる……
そっちはどうだった？……うん……うん……
ん……営業要請でPB？……そう、そ
れはいい判断ね。私からも技術部に言っ
ておく。なんとか説得しましょう……私
たちの最大のミッションは野間リーダーの
ケア。だから当然じゃない……え？……
うん、こっちもうまくいった。中野副部長
は私たちの思い通りに動いてくれる。不要
なものはどんどん切っていきましょう。

山崎、そのまま口パクで電話を続け
る。

大下が開発室に入る。

六場【オフィス】木曜日

鈴木がデスクから出てくる。
野間、開発室から出てくる。

野間

鈴木副部長。

と言って、結果の紙を見せる。

鈴木

1サイクル目の放電容量が249、で……
5サイクル目が243。ほぼ100パーじ
ゃない。

はい。それ以降も安定した充放電効率です。
期待通りね。じゃあこのまま進めましょう。
わかりました。

とにかくこの開発を急いで。社の命運はこ
れに掛かってるから。頑張る。

野間

鈴木

何？
だったらなんでPBの開発をやらせよう
としたんですか？

鈴木

PB？……プライベートブランド？なん
のこと？

野間 ヤマノ電機の格安スマホです。そのバッテリー開発を優先しろって。昨日、中野副部長に言われましたが・・・。
知らない。なにそれ？
野間 ホントですか？営業からの開発依頼書があります。

ラウンジでは小出が注文を取りに。

野間、デスクに向かい、依頼書を渡す。

野間 営業要請だからわがまま言うなって。
鈴木 え？

鈴木、依頼書を読みだす。

鈴木 こっちは山東電機の社運を賭けたプロジェクトなのよ。中野副部長は一体何考えてんの？
野間 鈴木副部長に相談なかったんですか？
鈴木 現場先に動かして、後から言うつもりだったんでしよう。中野副部長の考えそうなことね。
野間 すいません。知ってると思ってました。
鈴木 このこと？知るわけないじゃない。知ってたら断るに決まってるでしょ。
野間 ですよね。
鈴木 で、これはどうなったの？
野間 松川電器の宇部課長がなんとかしてくれませんか？
鈴木 松川が？
野間 はい。松川の技術に聞いてみるそうです。
鈴木 松川がうちにバッテリーを供給する？
野間 はい。そう言ってくれました。
鈴木 そう。いずれにしてもこれから、中野副部長から直接何か言われたら、私にも報告してくれる？
野間 わかりました。

鳶、別部署からやってきて、デスク
に向かう。

鈴木 勝手なことされたらたまないから。とに
かく今は、車載バッテリーのことだけを考
えて。いい？
野間 はい。

ラウンジでは小出がコーヒーをサー
ブ。

野間 鈴木副部長。
鈴木 なに？

野間 あの、付かぬことをお伺いしますが．．．
鈴木 副部長は、その、なんで山東電機に
来たんですか？
鈴木 え？うちに？

野間 はい。
鈴木 志望理由？
野間 はい。
鈴木 研究室の推薦。

野間 それはわかってます。他に行きたいとこ
な
鈴木 かったんですか？
野間 いや別に。就職できればどこでもよ
か
鈴木 ったから。

野間 そうですか。
鈴木 入るときの理由はないけど、この会社
に
野間 残
鈴木 ってる理由は、ある。
野間 なんですか？

鈴木 松川電器を見返すこと。
野間 見返す？

鈴木 ああいう資本力もあって、人材も揃
っ
野間 てて、
鈴木 ブランドも確立されてるような、なん
ど
野間 もある会社にはぜったいに負けたくな
い。

鈴木 ．．．
野間 っというつもりで今まで頑張ってきた
ん
鈴木 だけどね、まさか買収されるとは。驚
い
野間 た。
鈴木 はい。

鈴木 どうしてそんなこと聞くの？

野間 いや、昨日、宇部課長に聞かれました。鈴木副部長はどうだろうって思ったもんですから。

鈴木 野間リーダーはなんて答えたの？

野間 ・・・自由に研究開発させてくれるから。そう答えました。

鈴木 野間リーダー。

野間 はい。

鈴木 野間 辞めないでね。山東電機。

野間 ・・・。

鈴木 野間 あなたはうちが誇るトップエンジニアなんだから。

野間 あいや、いきなり何を。

鈴木 野間 野間リーダークラスなら、色んなとっから声掛かってるでしょ？

野間 いやそんなことは。

鈴木 野間 まだないならこれから絶対声が掛かるから。

野間 ・・・会社がこんなだから、そこ狙って、あの手この手で引き抜こうとするでしょう。

野間 鈴木 野間 あなたの人生、どういう選択をしようが。

大下が開発室から入ってくる。

鈴木、一瞬、迷うが続ける。

鈴木

あなたの人生、どういう選択をしようがあるあなたの自由だけど、でもね、会社がこんなときだからこそ一緒に頑張ってる、松川電器見返してやりましょう。山東電機にもこんな優秀なチームがあったんだって。ね？

野間 頑張ります。

鈴木 大下さんも。

大下 はい？

鈴木 大下 会社がこんなときだからこそみんなで力を合わせて、松川電器見返すのよ。今が一番重要な時なの。そのつもりでお願いね。ああはい。

大下

鈴木
 それでチタン酸ナトリウムの粒径制御な
 んだけど、明日までに100サイクルのデ
 ータを取ってもらえる？
 え？
 わかりました。
 野間
 明日まで？
 大下
 当然。1分1秒争うの。とにかく結果を出
 すこと。いい？
 野間
 はい。
 鈴木
 大下さんもチームの一員なら、協力して。
 ああでも大丈夫です。(大下に)いいよ。
 野間
 薦サブリーダーもいるし、大下は帰っても。
 大下
 ありがたいございます。教授。
 鈴木
 ダメに決まってるじゃない。
 2人
 え？
 鈴木
 (大下に)今の話、聞いてた？
 大下
 はい？
 鈴木
 この案件は1分1秒を争う社の特命プロ
 ジェクト。松川電器を見返すチャンスなの。
 野間
 もちろん私も責任者として付き合います。
 え？いいですよ。いてもらっても何もする
 ことないし。明日、報告しますから。
 鈴木
 何もすることなくても、私にはこのプロジ
 エクトを成功させる責任がある。だったら
 私だけ帰るわけにいかないでしょ。
 大下
 でも私、体調が。
 鈴木
 この前言ったこと覚えてる？妊婦でも甘
 えてなんかいない、手抜きなんかしてない
 って。
 大下
 言いました。
 鈴木
 だったら仕事をして。今しないと一生後悔
 することになる。それくらい重要な日なの。
 大下
 今日は。わかった？
 鈴木
 ・・・。
 大下
 私の言った意味が分からないのであれば、
 この会社にあなただの居場所は、
 (遮って)わかりました。やります。
 鈴木
 OK。今こそチーム一丸になって松川、見
 返しましょう。
 2人
 はい。

鈴木　お腹空いた？
野間　え？あはい。
鈴木　出前取ります。何がいい？
野間　ああじゃあ肉系であればなんでも。
鈴木　大下さんは？
大下　いいりません。
鈴木　そう。遠慮しなくていいのよ。
大下　遠慮なんかしてません。そういう気分じゃないだけです。
鈴木　そう。あとコンビニ行くけど、デザートいる？
野間　あじゃあメビウスお願いしてもいいですか。
鈴木　たばこ？OK。じゃあよろしくね。
野間　はい。

鈴木、退室する。

鈴木がいなくなったことを確認して、

大下　毒女、最悪。
野間　あんま無理すんなよ。
大下　教授、知ってます？鈴木副部長、ホントは松川電器に行きたかったんですよ。
野間　え？
大下　うちの旦那、同じ研究室にいたの、前に言いましたよね？
野間　うん。
大下　聞いたんです。鈴木副部長、ホントは松川電器に行きたがってたのに推薦してもらえなかったんですって。
野間　・・・。
大下　最悪だと思いません？それで松川のこと見返しましたよ。個人的な感情にうちら巻き込むなって話ですよ。
野間　俺は別にどうでもいいけどな。個人的な感情だろうが何だろうが。
大下　え？
野間　結果的にやりたいことをやらしてくれてる。
大下　さすが教授。ブレませんね。

野間 その教授って言うの、いい加減やめてくれないか。
大下 いいじゃないですか。私にとっては教授です。
野間 ・・・。

そこに広重、中野、蔦が来る。
広重は手に開発依頼書を持っている。

広重 野間リーダー、PBのバッテリー開発、松川電器がやってくれてるって本当ですか？
野間 え？
広重 今、蔦サブリーダーから昨日の経緯を聞きました。
野間 であれば報告した通りです。なんで私に確認するんですか？
広重 信じられないからです。松川さんがこんなコストでやってくれるわけないじゃないですか。
野間 技術部に断られたとしても、どっかのグループ会社がやってくれてるって言ってました。
広重 ・・・小林本部長に報告してきます。

と言って退室しようとする、

中野 広重部長。
広重 はい？
中野 小林本部長になんて言うんですか？
広重 え？
中野 部下に開発を断られました。そしたら松川さんが助けてくれました。さてどうしましょう？
広重 ようって言うんですか？
中野 なんですか？その言い方。
広重 止めた方がいいと思います。
中野 ・・・。
広重 部下を管理できていないって、自分で言いに行くようなもんです。
中野 え？
広重 違いますか？

広重　　・ ・ ・ 。
中野　　ここは松川さんの提案に乗った方がいい
広重　　んじやないでしょうか。
中野　　私の立場はどうなるんですか？
中野　　立場？
広重　　営業トップの村上専務から直々に頼むっ
中野　　て言われたんです。
中野　　もちろんわかってます。
広重　　山東電機の存続に掛かってるんです。松川
廣　　電器には関係ないことだ。
野間　　しかし親会社がやるっていうのを覆せる
野間　　ものでしょうか？
広重　　ちよつと待ってください。まさかまだPB
野間　　やれつて言うんですか？
広重　　当たり前ですよ。それこそがうちが生き残
野間　　る唯一の方法なんですから。
野間　　そんなことはありません。いち早く車載バ
野間　　ッテリ－の開発を成功させることこそが、
広重　　生き残る唯一の方法だと思っっています。
野間　　それは野間リ－ダー、あなたがPBの開発
野間　　をやりたくないからそう思ってるんです
野間　　よね？
野間　　・ ・ ・ 。
野間　　会社組織でそんなわがまま通用しません
野間　　よ。
野間　　・ ・ ・ 大下。
大下　　はい。
野間　　時間がもつたいない。仕事をしよう。
大下　　え？あでも。
野間　　リ－ダー命令だ。
大下　　あはい。わかりました。
野間　　私は鈴木副部長の指示に従って仕事をし
野間　　ています。何か問題があれば鈴木副部長に
野間　　言ってください。失礼します。
廣　　おい野間。

野間、無視して開発室に行く。

広重　　大下さん、鈴木副部長は？

大下 コンビニなんですぐ帰って来ると思いま
す。
大下 そうですか。
大下 はい。失礼します。

と言って大下も開発室へ。

広重 薦サブリーダー。
広重 はい。

広重 あなたからも野間リーダーを説得しても
らえないでしょうか。

薦 え？私ですか？

広重 同期の責任でもあります。

薦 そんなむちゃくちゃです。

広重 むちゃくちゃでもなんでも野間リーダ
ーを説得してください。お願いします。

薦 確かに私も宇部課長の提案には抵抗があ
りました。でも冷静に考えたら最善の案だ
と思うようになったんです。八方丸く収ま
ります。それをなんで覆さなきゃいけない
んですか？

広重 最善ってなんですか？

薦 え？最もに善悪の善と書いて、

広重 言葉の意味を聞いてるわけじゃありませ
ん。会社組織において上司が部下に命令を
下す。それは絶対です。もちろん現場で多
少の判断をしなきゃいけないこともあり
ますが、大卒の方針をはみ出すことは許さ
れません。野球やサッカーで監督の指示が
絶対であるのと同じです。組織とはそうい
うものです。それはわかりますよね？

広重 はい。

薦 それでは、役員指示の命令があるのに、そ
れ以外の方策がなぜ最善なんですか？

広重 ・・・。
薦 野間リーダーのわがままを受け入れるか
ら最善なんて考えが起こるんです。上下関
係において八方丸くはおかしいです。上司
の命令を実行する以外に最善はありません。

薦
広重
いやしかし野間リーダーの言うことにも一理ありまして。山東電機復活のためには、（遮って）一理とか二理とかそんなことどうでもいいです。上司の命令に素直に従うこと。薦サブリーダー、これは部長命令です。野間リーダーを何としても説得してください。

薦
広重
・・・

薦
広重
そもそも私は中野副部長にお願いしましたよね？

中野
役員命令だから迅速にお願いしますと。私が部下を管理できてないって言うのであれば、中野副部長こそ管理能力を問われま

中野
お言葉を返すようですが、私は私のやるべきことをやりました。事実、野間リーダーにも薦サブリーダーにも、その案件の重要性を理解してもらい、承諾させました。（薦に）嘘は言っていないよな？

薦
中野
私がいらないところで宇部課長が提案してきたことです。いかんともしがたいっていうか。いずれにしても私はやるべきことをやりました。

薦
広重
でも実際は命令に背いてるわけですよ。ね？現場は。私はそのことを問うてるわけです。プロセスではなく結果で話をしてください。

薦
中野
結果と言われても私のいないところでされた話です。責任の取りようがありません。例えば、例えばですよ、親が見ていないところで子供が犯罪を犯した。その場合、親に責任はないと？

薦
中野
・・・
中野副部長の言ってることはそういうことです。結果、命令に背いてるわけですよ。彼らは。中野副部長の責任は重大ですよ。・・・広重部長、いい加減上だけ見て仕事するの止めませんか。

広重 何を言ってるんですか？
中野 その役員命令に従ってこの会社はどうな

りましたか？結果結果って言いますけど、その肝心の結果を出してないじゃないですか。会社は。それでも引責辞任しようとしれない役員にこそ問題があるんじゃないんでしょか。

広重 管理職でありながら会社を批判するんですか？中野副部長、今の発言は聞かなかつたことにしておきます。

中野 広重部長、今の役員にはなんの力もありません。今や山東電機は松川電器のものなんです。

舘野 松川電器の？どういう意味ですか？

広重 松川電器のものがあって何ですか？社長は、山東電機の上場とブランドは維持されるとはつきり言ってくれました。山東電機は山東電機社員のもんです。

中野 社員のもの？金は出すが口は出さないって本気でそう思ってるんですか？社長はそう言いました。

広重 松川電器のものって、もしかしてSANTOブランドがなくなるんですか？

中野 おそらくな。そしてこれまたおそらく将来的には上場も廃止だ。山東電機は松川電器の100%子会社になる。そういうことだ。ありえない。何を馬鹿なこと言ってるんですか。

中野 その馬鹿なことが現実にかかるんです。

【ラウンジ】火曜日

ラウンジにいる山崎と中野。
呼び出したときの会話が再現される。

中野 そんな馬鹿な。ありえない。
山崎 信じようと信じまいと山東電機がなくな

ることは既定路線です。山東は事実上倒産
中野 なんです。
・
・
・

山崎 これはおうちの役員会議で決定した通達事項です。嘘ではありません。

中野 なぜそれを今私に？

山崎 協力してほしいからです。

中野 協力？

山崎 はつきり申し上げます。私たちの評価では

広重部長、中野副部長はリストラ対象です。

リストラ？私が？

山崎 はい。申し訳ありませんが、松川電器傘下

の新会社に、お2人の居場所はありません。

中野 ・ ・ ・

山崎 冷たいと思うかもしれませんが、私たちも

明日は我が身なんです。会社が生き残るた

めに、そうせざるをえないんです。ご理解

ください。

中野 今まで会社を必死に支えてきました。その

会社を生かすために、私の首が切られる。

矛盾してると思いませんか？

山崎 矛盾ですか。

中野 あなたにはわからない。私がこれまでどれ

だけ山東電機に尽くしてきたか。

山崎 中野副部長の視点で見ればそうかもしれ

ません。でも逆に会社の視点で見れば、何

千何万という人を会社が支えているのも

事実です。

中野 他の社員ってことですか？

山崎 そうです。でもそれだけじゃありません。

中野 社員の家族、取引先や販売店、株主、そし

てその人たちの家族、あらゆるステークホ

ルダーがこの会社という生き物にすがっ

て生きているんです。いや生かしてもらっ

ているんです。分かりますよね？だから、

中野 その何千何万何十万という人たちのため

にも、松川電器は潰れるわけにいかないん

です。

中野 私の事情は無視ですか？

山崎 申し訳ありません。 ・ ・ ・ 会社が生き残るた

めに、一個人の事情は関係ありません。会

社とは、矛盾を抱えて存在する生き物です。

中野 ・ ・ ・ 協力すれば首を切られずに済むんですか？

山崎 保証します。ただし部署までご希望通りとはいきません。会社ですから。

中野 何をすればいいんですか？

【オフィス】木曜日

中野 S A N T O ブランドは解体、上場廃止だと言われました。我が社は実質倒産なんです。倒産？

薦 この山東電機が？

広重 そこまでうちはひどかったんですか。

薦 山東電機が倒産？私が25年、掛けて来たこの会社が倒産？世界の山東電機が？ありません。

中野 山崎室長の言われたことがどこまで本当なのか私にはわかりません。ただ、人事権はすでにうちにはなく、松川電器にあるようです。

広重 人事権？親会社とは言え、そこまで口を出せるはずがない。

薦 じゃあなんであの2人はここに来たんですかね？

広重 それはこの前室長が言ってたじゃありませんか。松川電器のビジョン、DNAを伝えるために、

中野 そんな建前、本気で信じたんですか？

広重 建前も何も山崎室長がそう、

中野 (遮って) 広重部長、山崎室長に私ははっきり言われました。新会社にあなたの居場所はないって。

2人 え？

中野 この次世代電池事業部を強くするために、

【ラウンジ】火曜日

山崎 若返りをする必要があります。それも一刻も早く。そのために私は松川電器の若いエンジニアをこちらにたくさん送り込もう

と書いています。山東電機さんからリチウムイオンの開発技術を学ばせてもらうためです。

【オフィス】木曜日

中野 そう言われました。

広重 なんてことですか。

中野 この部署はもう私たちがコントロールでき
きる状態じゃありません。広重部長、私の
言っている意味、分かりますか？

広重 ・・・。
中野 家のローンがまだ30年も残っているのに、

息子がこれから小学校に上がるっていう
ときに、お前は会社に必要ないって言われ
たんですよ。どうすればいいと思います
か？

広重 ・・・私も、その、なんていうか、リス
ト
ラの？候補ですか？

中野 ・・・広重部長、これから飲みに行きま
せんか？

広重 昔は夜中まで働いて、その後2人で飲み
に行きましたよね。

広重 ハハ。懐かしい。

中野 久しぶりにサシで。

広重 駅前の笑笑ですか。

中野 いいですね。朝まで行きましょう。あ
のときみたいに。

広重 言っておきますが・・・割り勘ですよ。
中野 え？

広重 私にもローンが残ってますから。
中野 （苦笑）あはい。

広重、退社する。
後に続く中野に向かって、

中野 中野副部長。
中野 ？

鳶
これ（依頼書）は、その、どうすればいい
でしょうか？

そこに鈴木が帰ってくる。
両手に大きなコンビニ袋を抱えて。

鈴木
あれ？中野副部長、まだ残ってたんです

中野
か？珍しいですね。

鈴木
これから帰るとこだ。

中野
あそうですか。ですよ。良かった。中野

鈴木
副部長の分は頼んでないんで。鳶サブリー

鈴木
ダーの分は頼んでおきました。

鈴木
何を頼んだんですか？

鈴木
夜食よ夜食。今夜は長丁場。頑張りましよ

鈴木
う。

中野
ありがとうございます。

中野
それは鈴木部長の指示に従うように。

鈴木
わかりました。

鈴木
え？何のことですか？指示って。

鈴木
プロジェクトのことですよ。決まってるじ

鈴木
やないですか・・・それじゃ私はお先に失

鈴木
礼します。

鈴木
お疲れ様でした。

鈴木
お疲れ様です。

中野、退社する。

鈴木
鈴木、部長って言ってました？

鈴木
やっぱり？私もそう聞こえた。

鈴木
え？昇格ですか？

鈴木
んなわけないじゃない。うちの会社はまだ

鈴木
まだ年功序列。中野副部長を差し置いて、

鈴木
それはないわ。聞き間違えでしょ。

鈴木
そうですね？

鈴木
え？

鈴木
いや、すいません。なんでもありません。

鈴木
鈴木部長。

鈴木
だからちよっとやめなさいって。

鳶は開発室へ。

鈴木はデスクへ。

七場【ラウンジ】木曜日

その日の深夜。

大下が恐る恐る入ってくる。

山崎、手を上げ居場所を知らせる。

大下 すいません。お待たせしました。

と言って座る。

山崎 こちらこそ。遅くに呼び出してすみません。

大下 あいえ、ちょうど帰るところだったんで。

山崎 そう。遅くまで大変ですね。

大下 いえ。私は（お腹）これなんで先に上がらせてもらいました。

山崎 ああ、体調はどうですか？

小出がやってくる。

小出 ご注文は？

大下 ああ・・・じゃあオレンジジュース。

小出 オレンジジュースですね。かしこまりました。

小出、去る。

大下 体調は問題ありません。

山崎 そう。よかった。みなさんの仕事って車載バッテリーですよね？

大下 ・・・あの、なんですか？話って。体調は問題なくても、その、あまり遅くなるのも。

山崎 わかりました。では単刀直入に言います。

大下 あはい。

山崎 松川電器の技術部に出向してもらえないでしょうか。

大下 え？

山崎 異動のお願いです。もちろん大下さんの意向もあるので、断ることもできますが、私

大下 としてはぜひ大下さんに来てほしいと思
っています。

大下 異動？こんなところでそんな話・・・ちよつ
と、ビックリしました。松川電器に出向つ
て。え？なんなんですか？

山崎 はい。ここで話をしていることはすいませ
ん。社内だと周りの目がありませんから。そ
れに一刻も早い方がいいと思ひまして、こ
んな時間ですが、直接大下さんと話をした
かったんです。できれば1週間後か2週間
後にはうちに来てほしいと思ひています。
それは急ですね。

大下 山崎 大下さんのキャリアパスを考えれば、今こ
こで別会社籍を置くというのも、いい経
験になると思います。

大下 でも私、あと2ヶ月で産休に入るんですよ。
迷惑かけちゃうと思うんですが。

山崎 2ヶ月あれば充分です。大下さんのスキル
があれば。そう思っています。

大下 失礼ですが、さつきから何を言ってるか理
解できません。そんな無駄な人事、非効率
ですよ。松川電器らしくない。え？2ヶ月
あればって、私に何をやらせたいんです
か？

山崎 はい。これです。

と云って開発依頼書を目の前に置く。

大下、それを見て啞然とする。

山崎 よくご存じの案件です。

大下 野間リーダーから、散々愚痴を聞かされま
した。

山崎 PBのバッテリー開発を大下さんにお願
いしたいんです。

大下 え？え？それってつまり、

山崎 元々山東電機の開発案件です。であれば山
東電機社員がやるのが筋だと思ひませ
んか？

大下 宇部課長が自分とここでやります、と答えた
そうです。

山崎 ええ。ですから松川電器でそれを請け負うことになりました。技術部からも快諾してもらっています。

大下 だったら、
山崎 （遮って）だから大下さんに来てほしいんです。松川電器の技術部でそれをやってほしいんです。

大下 とんでもないと言いますね。
山崎 だから松川電器は世界一の企業になったんです。仕事で最も重要なことは適材適所の人事である。

大下 ジャックウエルチ。
山崎 はい。世界一有名な経営者ジャックウエルチが言った言葉です。当たり前という言葉ですが、重みが違う。私たち人事部にとっては

大下 神のような存在です。
山崎 そんなこと言われても・・・野間リーダーが断ったこれを私が？できません。

大下 なぜ？
山崎 なぜって、それは、その・・・尊敬する上司を裏切ると思うから？
大下 それとも、大下さんもやりたくない仕事はやらない主義？

小出がやってくる。

小出 オレンジジュース、お持ちしました。
大下 ・・・・
山崎 ありがとうございます。そこに置いてください。
小出 はい。

小出、オレンジジュースを置いて去る。

山崎 大下さんもやりたくない仕事はやらない主義？そんなことないですよ？大下さんはそういうタイプじゃない。

大下 ・・・・

山崎 異動に納得してもらえないのであれば、大下さんをプロジェクトリーダーにしようと思っ

思っています。

大下 リーダー？私？

山崎 はい。クラスアップの大抜擢です。

大下 私が？リーダー？

大下 大下さんならできます。ゆくゆくは山東電機を背負って立つ人材だと思っていますから。

大下 そんな無理ですよ。私には。

山崎 無理だと思ったら無理です。でも無理じゃないと思っ

た挑戦することも時には必要です。大下さんならできます。

大下 ・ ・ ・

山崎 それから次世代電池事業部の次の部長な

大下 んですが ・ ・ ・

山崎 え？次？え？ ・ ・ ・ 広重部長は？

大下 鈴木副部長にお任せしたいと思っています。

大下 え？

山崎 来月には鈴木部長の誕生です。野間リーダー、蔦サブリーダーの信頼も厚い。私は適材適所だと思っています。

大下 ・ ・ ・

山崎 それでも大下さんは、次世代電池事業部に残りたいですか？

大下 ・ ・ ・ 前向きに検討します。

山崎 いい返事を待ってます。大下リーダー。

大下 ・ ・ ・

山崎 ではお身体、お大事に。失礼します。

山崎、伝票を持って帰る。

大下、オレンジジュースを一气飲み

する。
そして啜る。やがて決意したように帰る。

八場【オフィス】金曜日

翌朝。鈴木が開発室から入ってくる。

疲れている。徹夜だったようだ。
そこに薫がデスクからやってくる。

薫 トイレで宇部課長に会いました。
鈴木 え？もう？（腕時計を見て）6時半に？早
すぎない？

薫 はい。それで私たち3人が朝までいたこと
を伝えたら、「ちょうどよかった、だっ
たら少し話をさせてください」と言われまし
た。

鈴木 話？

薫 はい。何の話かわかりませんが。

鈴木 まあ、こっちはちょうど一段落したから
いいけど・・・でもなんか都合よすぎない？
薫 どういう意味ですか？

鈴木 だってこの時間でしょ？まるで私たちだ
けに話があるみたい。

薫 徹夜だったこと知ってたんですかね？

鈴木 さあ。でもきつと広重部長、中野副部長が
いたら都合悪い話なんですよ。
薫 ああ、そういうことですか。

野間が紙を持って開発室から入って
くる。

野間 これ見てください・・・粒径制御すること
で理想的なシート特性が見られました。温
度25度において約23%の向上です。

鈴木 理論値にはまだ遠いけど、いい傾向ね。今
度は温度を変えてみましょう。チタン酸ナ
トリウムの低温合成、もう少し追加して
くれる？

野間 わかりました。ってことは明日も出社す
か？

鈴木 当然。土曜日だけどいい？

野間 今が踏ん張り時です。むしろ休みなんてい
りません。

鈴木 何言ってるの。三六協定の範囲内で仕事は
しましょう。

宇部 ああいやいや。座ってください。お疲れで
しょうから。

鈴木 宇部課長こそ、こんな朝早く。どうしたん
ですか？

宇部 皆さんに大事な話をしたいなと思いまし
て。はい。

鈴木 大事な話？

野間 それは後でつてわけにいきませんか？

宇部 後？

野間 例の実験で徹夜しました。3人とも疲れて
ます。

宇部 そうですよ。

野間 それにもうすぐ広重部長、中野副部長も出
社します。大下もないし。揃ってからの

方がよくないですか？二度手間になるし。
なるほどですね。

鈴木 野間リーダー。宇部課長がこんな朝早くに
来た意味。もう少し考えて。

野間、壁時計を見る。

そして鈴木、鳶の顔を見る。

宇部 お疲れのところすいません。今ここで話し
をすることが、一番いいと思ったものです

から。

野間 ・・・。
ありがとうございます。なぜ私がこの話を

皆さんだけにするのか。それは、皆さんに
ぜひ理解してほしいと思うからです。松川
電器の経営陣が考えていること。そしてこ
の次世代電池事業部の未来についてです。

暗転。

明けると、ひと通り話が終わった20
分後である。

宇部

今、お話ししたことは内々示だと思ってく
ださい。予定では1週間後のボード会議で
決済されます。そこで初めてオープンにな

しばし間。

宇部 私の叔父が西谷屋で常務執行役員やってまして。

鈴木 西谷屋って、ベビー用品の？

鈴木 はい。ベビー用品全国チェーンの・・・そこが今、定年したメーカーの技術者を積極的に採用してるんです。

鈴木 へえ。そうなんですか。

鈴木 はい。西谷屋も自社でベビー用品を開発してるんです。いわゆるPBです。

鈴木 へえ。

鈴木 広重部長がよければ、叔父に口を利いてもらおうと思ってます。

鈴木 西谷屋にですか？

宇部 ええまあ、よければですけど。

鈴木 広重部長がベビーカーを？想像するだけで笑っちゃうわね。

宇部 広重部長なら西谷屋に貢献できると思います。

鈴木 ゴルフに行く回数、減るわね。

宇部 行くことになれば、そうなりますね。

鈴木、立ち上がり深々と頭を下げる。

鈴木 広重部長を何とぞよろしくお願いします。はい。私にできることであれば・・・あ、

鈴木 今の話、山崎には言わないでください。この仕事に同情は禁物ってまた怒られますから。

鈴木 ・・・・わかりました。

鈴木 それで、あの、徹夜明けのところ申し訳ありませんが、この後一緒に松川電器に来てもらえませんか？

鈴木 松川さんに？

鈴木 はい。ここに送り込む5人の選抜について相談したいんです。

鈴木 ・・・・いいですよ。ここは任してください。

鈴木 ありがとう。(宇部に)じゃあ。
宇部 すいません。ではタクシーで一緒に行きま
しょう。
鈴木 はい。(2人に)じゃあよろしくね。
2人 (口々に)はい。

宇部、鈴木、松川電器に向かう。
2人のギクシャクした間がある。

野間 副部長昇格おめでとう。
野間 トゲがあるな。
野間 ないよ。素直にそう思ってる。俺に管理職
は無理だ。さすが松川電器、よくわかって
る。

野間。PBのバッテリー開発、仮に松川が
引き受けなかったら、どうした？会社の言
うこと聞いたか？
野間 うん・・・どうかな。
野間 やっぱ断るか？
野間 たぶんな。そんなことに時間を割く意味が
俺にはわからない。

野間 意味ね。
野間 意味が分からないのに、やる意味が分から
ん。なんか変なこと言ってるか？
野間 その信念、理解はできるが間違っている。
野間 そうか？

野間 そうだ。やりたくない仕事でもやらなきゃ
いけないのが会社のルールだ。会社に雇わ
れてる以上、会社の言うことに従うのは当
然だ。

野間 別にやりたくないとは言っていない。今、や
りたくないと言っただけだ。車載バッテリ
の開発で忙しいときに、なんでPBをや
らなきゃいけないのか意味が分からんと
言っただ。

野間 そう言うことも含めて上は判断したんだ。
野間 今、やるべきは車載バッテリーじゃなくて、
PBバッテリーの開発だと。
野間 その上の考えが正しいとなんでわかる？
野間 PBで日銭稼いでも山東は復活しない。少

し寿命が延びるだけだ。やがて死ぬ運命なら、そんなことに時間を掛けちゃいけない。もっと先を見て判断するのが上に立つ人間じゃないのか？

いつからお前は経営者になったんだ？そういう考えもあっていい。否定はしない。でもさっきから言ってるように、それも含めて考えた役員の結論だ。下はそれを否定しちやいけない。いや否定するだけならいい。心の中で。でも断るのはお門違いだ。それが理解できない。心の中で否定するのはよくて、なんで断るのはお門違いなんだ？

野間
役員命令だからだ。上司の命令を断るなんてことを下はしちやいけない。組織の一員である以上、当然のことだ。

野間
理解できる命令なら俺だって聞く。ただ今回の命令はとてもしゃないが理解できなかった。なぜか？今、世界中でリオンバッテリーの開発を競争している状況だ。言うまでもなく山東電機もそのレースに参加している。そしてラッキーなことに今俺たちは先頭を走っている。そんなこと蔦に言うまでもない。なのになぜ自らそのレースを棄権しなきゃいけないんだ？まっつつつたたく意味が分からん。
蔦
レースをする体力がなくなってきたからだ。

野間
体力を蓄える時間を作って1位を諦めるくらいなら、このまま走った方が1位になるチャンスがある。この世界、1位にならなきゃ意味がない。俺はそのつもりで開発に全力投球してきた。

野間
それは経営からしたらギャンブルだ。宇部課長にも同じこと言われたよ。俺のやってきたことはギャンブルだと。
蔦
経営はギャンブルじゃない。確実に生き残ることがすべてだ。

野間

その確実に生き残る方法こそが車載バッテリーの開発だと俺は言ってるんだ。営業はそれをわかっているじゃない。

鳶

村上専務だって苦渋の決断をしたに決まってる。俺たちはその想いを汲み取るべきだ。

野間

そういうことなけれ主義がこの会社をダメにしたんじゃないのか？

鳶

違う。逆だ。俺たち開発陣が力を持ちすぎたんだ。営業や事業部の言うことを聞かない開発陣の開発したモノなんか売れるわけがない。

野間

それはコンシューマープロダクトの話だ。俺が作ってるのはプロダクトに提供する電池だ。車やスマホに載せるバッテリーだ。営業の言うことを聞く必要がどこにある？

鳶

言うことを聞けなんて言っていない。耳を貸すべきだと言ったんだ。俺たちはチームで動いている。コンシューマー製品だろうが、B2B製品だろうが、同じだ。営業には営業の事情がある。開発部だけが会社を動かしてるわけじゃない。みんなで動かしてるんだ。

野間

だから理解できる意見なら俺だって聞く。理解できない命令をなんで聞かなきゃいけないんだと言ってる。

鳶

役員命令は会社の決断だ。山東電機の社員なら聞くべきだ。聞かなきゃいけない。だ

野間

ったら辞めろという話になる。組織の人間だから言うことを聞けっていうのはあまりにも横暴だと思わないか？経営は神様か？いや神様ならよかった。救

鳶

ってくれる。役員命令を横暴だというなら、会社とはなんだ？組織でいる意味とはなんだ？野間ひとりじゃできないことが組織ならできる。そういうことじゃないのか？開発チームという意味ではそうだ。

野間

役員は会社の進む方向を示した。それを横暴だというならこの船は沈む。それに今、沈みかけてる。

野間 だから沈まないようにみんなで頑張ろうって話じゃないか。この船に乗ってるのは開発部だけじゃないことはわかるよな？ 全社員、その家族、またその家族、あらゆる人間がここに乗ってるんだ。

野間 俺だって会社のことを考えてる。

野間 野間のギャンブルに掛けたいという人間はおそらく誰もいない。

野間 いい開発はまずリスクを背負うことだ。今までだったら同意する。でも今は緊急事態だ。通常ではしない判断をしなきゃいけない状況だ。今こそ自由にやらせてくれた会社に報いるべきだと思わないか。

野間 そんな開発魂を売ってまで会社が残って、俺はホントに楽しいのか？満足できるのか？俺にはできない。俺たち開発者は世の中をあとと言わせる製品を作るのが存在価値だ。

野間 そんなの俺だってそうだ。会社人生、いや大学の研究室にいるときから開発に全エネルギーを注いできた。

野間 それが開発に携わる人間の性というものだ。そして俺は俺の能力で会社に大きく貢献してきた。世の中になんか使える製品だけを作ってきた。

野間 確かにそうだ。野間が開発したりオンパツテリーは画期的なものばかりだ。

野間 だろ？だから俺は、
（遮って）だからそれがわがままだって言うんだよ。

野間 え？
自分だけは違ふとか、思い上がりもいい加減にしてくれ。

野間 なんだよ、俺。
・・・今まで俺は野間に従ってきた。正直、疑問に思うこともあった。もう少し広重部長の言うことも聞いた方がいいんじゃない

いかなーとか。それでも俺は何も言わなかった。それは野間が俺の上司だからだ。同期とは言え、上司の言うことだから素直に従う。サラリーマンとして当然のことをしてきた、つもりだ。結果、評価はすべて野間敏也のもの。俺は単なるサポートスタッフ。天才野間敏也の日陰。ハイミの話もそうだ。ハイミは俺が必要なんじゃない。野間が必要で、その野間を引き抜くために俺を餌にする。俺だってエンジンアの端くれだ。プライドだってある。でも現実は、野間の、マネージャーだ。エンジンアですらない。広重部長も野間を説得するのに俺に言ってくる。俺が野間のマネージャーとしか見られてないからだ。

何言ってるんだよ。

それでも俺は我慢した。リーダーを支えるのがサブリーダーの仕事だから。でもこれからは違う。俺は副部長でお前はリーダーのままだ。俺はお前に命令をする立場だ。いいか、もしかまた上からPBバッテリーの開発をやってくれと言われたら、俺は何が何でもお前にやらせるつもりだ。それが俺の役割だから。同じ状況でもし断ったら容赦はしない。
・ ・ ・ そっか。
ああ。

しばし間。

野間 広重部長も、中野副部長も、大下も、俺は

犠牲者だと思っっている。

なんだよ？犠牲って。

野間敏也を管理できなかった結果だ。

しばし間。

野間 わかった。これからは俺に従うよ。

ありがとう。頼りにしてる。

野間、デスクに向かう。

野間

2、3時間、仮眠してくる。

野間

いや、どうせ今日はチタン酸ナトリウムを低温合成するだけだ。俺ひとりでもいい。

今日は帰った方がいいんじゃないか。

野間

帰れってこの時間に？会社休めってことか？

野間

そう。代休のこともある。明日はひたすら実験だろ。体力回復を優先してくれ。じゃ

野間

ないと走れなくなる。

野間

レースを棄権しないために休めってか？

野間

その通り。

野間

わかったよ。未来の副部長に従います。じゃあお言葉に甘えて。また明日。

野間

ああ、また明日。

野間

ああ、また明日。

野間、退社する。

野間、苦悶の表情を浮かべる。

がががて意を決して開発室へ。

九場【ラウンジ】金曜日

その日の昼間。

小出がテーブルを片付けている。

小出

どうぞ、お待たせしました。

典子が入ってくる。

典子

あれ、小出さんじゃありません？私です。

野間

野間です。

小出

あれ、野間さん。ご無沙汰してます。

典子

ご無沙汰してます。お元気ですか？

小出

はい。野間さんもお元気そうで。

典子

はい、おかげさまで。

小出

どうぞごゆっくり。

典子、椅子に座る。

しばらくして。

小出 (袖から) いらっしやいませ。

野間が入ってくる。
その後ろを小出が付いてくる。

野間 待った？

典子 ううん。何？話つて。つていうか仕事
中だよね？

野間 うんまあ今日は早退した。

典子 え？早退？大丈夫？どうかした？

野間 いやそうじゃない。

典子 体調じゃないの？

野間 うん。

典子 じゃあなに？でもだったらうちでもよか

つたんじゃない？

野間 そうだけど。あーなんにする？俺はホット。

典子 じゃあ私は紅茶。

小出 ミルクとレモンとございますが？

典子 ーレモン。

小出 ホットでよろしいですか？

典子 はい。

小出 ホットコーヒーとホットのレモンティで

2人 すね？

小出 (それぞれ) はい。

2人 かしこまりました。

と行って去る。

典子 昔、お世話になったクライアント。

野間 クライアント？

典子 うん。東陵電機のシステム開発にいた人。

野間 へー。

典子 ねえ、明日締切で、あんま余裕ないんだけ

ど。なに急ぎで話したいことって。

野間 ごめん。ただどうしてもうちじゃないとこ

で話したかったから。

典子 なんです？

野間 ・ ・ ・

典子 気分転換したかったからいいけどね。

野間 典子 この前話したハイミのことなんだけど。
ハイミ？・・・ああ、ヘッドハンティング
野間 典子 の話？断ったんでしょ？
野間 典子 実はまだ断ってない。
野間 典子 え？あ、そうなの？
野間 典子 うん。
野間 典子 あれから何も言わないから断ったんだと
野間 典子 思ってた。
野間 典子 1週間返事を待ってもらった。
野間 典子 1週間？
野間 典子 今日がその日。
野間 典子 ・・・・この1週間ずーっと思って考え続け
野間 典子 てきた。
野間 典子 何を？
野間 典子 俺は何がしたいのかってこと。
野間 典子 うん。
野間 典子 山東で研究開発することは俺の生きがい
野間 典子 だった。
野間 典子 何を今さら。
野間 典子 それはずっと好きに研究開発させてくれ
野間 典子 る環境が好きなんだと思ってた。だから山
野間 典子 東電機が好きなんだって。
野間 典子 違ったの？
野間 典子 もちろんそれもあるけど、なんていうか、
野間 典子 ちよつと違った。
野間 典子 へー！ー！、どう違ったの？
野間 典子 わかってもらえるかわかんないけど。
野間 典子 うん。
野間 典子 環境とか、会社とか、そんな抽象的なもの
野間 典子 が好きなんじゃないよ。
野間 典子 会社は抽象じゃないよ。
野間 典子 触れないでしょ。触れない以上、俺にとっ
野間 典子 ては抽象だから。
野間 典子 (笑)あなたっばい。
野間 典子 俺は、俺を必要としてくれる、人が好きだ
野間 典子 っつてこと。目の前にいる、具体的な、人だ。
野間 典子 あ、それ、私も一緒。

野間 俺は、俺を必要としてくれる、人に頼まれたら何徹だってするし、全力で仕事をしてきた。
典子 わかる。
野間 だから山東電機が好きだった。
典子 必要とされてたから？
野間 (頷く)

しばし間。

典子 結婚して5、6年経つけど、初めてこんな話する夫婦ってどうなの？
野間 結婚したら仕事の話はしなくなるんじゃない？普通。
典子 さあ知らない。あなた以外の人と結婚したことないから。
野間 (苦笑)

しばし間。

典子 山東の人たちは、あなたを必要としなくなつた？
野間 たぶん俺じゃなくてもいいんだと思う。
典子 なにがあつたの？
野間 なにあってわけじゃないけど、俺は、俺を必要としてくれるところで働きたい。
典子 そう。
野間 だからハイミに行こうと思う。
典子 中国の会社だよな？
野間 そう。
典子 っていうことは中国？
野間 そういうことになる。
典子 私に相談もなく？
典子 ・・・ここで話をしたかったのはうちだと決心が鈍りそうだったから。
典子 どういうこと？
野間 俺は、典子の仕事を邪魔したくない。フリーのプログラマーで稼ぐ典子をリスペクトしてるし、応援してる。

典子 私に期待してるクライアント、日本にはた
くさんあるからね。
野間 だから、中国にはひとりで行きたい。
典子 単身？
野間 ．．．
典子 まさか別れたいってこと？

野間、かばんから離婚届を出す。

典子
野間

なんで？
日本には典子を必要としている企業がた
くさんある。その期待を裏切るべきじゃな
い。俺が逆の立場だったらそうする。

典子

ホントに？

野間

．．．たぶん。

典子

バカにしてんの？

野間

え？

典子

っていうかバカ？

野間

典子

フリーのプログラマーなんてネットがあ
ればどこにいても仕事はできるし、今どき
「会議は顔を合わせて」とか古いから。

野間
典子

．．．
なんで「中国に付いて来い」って言わない
の？ホントは私を必要としてるんでし
よ？

小出が入ってくる。

小出

ホットコーヒーとレモンティ、お持ちしま
した。

小出、飲み物をテーブルに置く。

典子

必要とされたいなら、まず自分から言うこ
とだと思う。私は、私を必要としてくれた
ら、世界の果てだろうと、どこへでも行く
よ。

野間
小出

．．．
ホットコーヒーとレモンティ．．．

典子　　そう。

　　と言って離婚届にサインをしだす。
野間、おもむろに。

野間　　俺には典子が必要だ。お願いだから中国に
付いてきてくれ。っていうか一緒に来てく
ださい。お願いします。

　　啞然とする小出。

典子　　この人、私にプロポーズするの2回目なん
です。

小出　　え？あ：・ホットコーヒーとレモンティ、
お持ちしました。
典子　　でもどうしようかな。

【オフィス】土曜日

　　薫が開発室から出てくる。
そこに鈴木が入ってくる。不安そう
な顔。

鈴木　　ねえ。

薫　　ああ、おはようございます。

鈴木　　おはよう。

薫　　いい感じの数値です。すぐ始めますか？

鈴木　　うん。ねえ？

薫　　はい？

鈴木　　野間リーダーと会った？

薫　　いえ。まだ来てないと思いますけど。

鈴木　　そう。

薫　　どうしたんですか？

鈴木　　私の机にこれがあったの？

　　と言って持っている封筒を薫に見せ
る。

鈴木　　退職届？
何か心当たりある？

呆然とする鳶と鈴木。

暗転。

十場【ハイミ】

壁に映る文字「1年後」
続いて「海米（ハイミ）」の文字。

明かりが付くと、ここはハイミのオ
フィス。

チャンと益子が話をしている。
そばにヤンが立っている。

益子 （資料を手に）ではこの方を第一候補とし
ます。

チャン 年俸はいくらでも構いません。必ずスカウ
トしてください。

益子 お任せください。説得してみせます。
チャン かおりは結果を出している。私はとても信
頼しています。

益子 ありがとうございます。夕方の便で日本に
帰ります。何かあればそれまでに電話をく
ださい。

チャン わかりました。ではまた今度。

と言って手を差し伸べる。

益子 （握手しながら）ありがとうございます。
（ヤンに）お話し中、割り込んで申し訳あ
りませんでした。
ヤン いえ。

益子、去る。

チャン ヤン。

ヤン はい。

チャン 言い訳は聞きたくありません。

ヤン 言い訳ではありません。

チャン 成功する3つの目、知ってますか？

チャン 知りません。

チャン 従業員を見る目、顧客を見る目、そして当局の産業政策を見る目のことです。

チャン はあ。

チャン 今、当局は電気自動車の開発に力を入れてます。今やらなければいつやりますか？

チャン 今です。

チャン だったら明後日までに結果を出してください。

チャン 明後日？無理です。

チャン 出さなければヤン、あなたは首です。

チャン ちよっと待ってください。私は一生懸命やっています。

チャン 一生懸命やっても結果を出さなければ、やっけないのと一緒にです。

チャン 私にだって家族がいます。

チャン ジアンがこの会社に来て1年。彼は結果を出しました。ヤン、あなた、彼の足を引っ張りたいんですか？

ヤン

チャン ジアンが開発したりオンバッテリーに相

チャン 応しい制御システムの開発、明後日までに結果を出してください。

ヤン そんな。

レイと蔦が入ってくる。

レイ チャン、松川電器の部長です。

チャン おお、松川。待ってましたよ。

蔦、名刺を出しながら、

蔦 初めまして。松川電器の蔦です。

チャン (名刺を出しながら) こんにちは。ハイミのチャンです。(椅子を勧めながら) どうぞ。

蔦 ありがとうございます。

チャン あなた、中国語、上手ですね。

鳶 はい。ハイミと業務提携する以上、中国語が必須と考えまして。

チャン (笑)

レイ ジアンを呼んできます。

と言って退室する。

チャン (ヤンに) コーヒーを出して。

ヤン はい。(名刺を出しながら) 私はヤンと言います。電気自動車のシステム開発をします。

鳶 松川電器の鳶です。よろしくお願いします。

ヤン、コーヒースペースへ。

チャン 松川電器、リチウムイオンバッテリーの開発、諦めましたか？

鳶 いえ、そういうことじゃありません。ただハイミの開発スピードに付いていけなくて。ですので手を組んだ方がいいんじゃないかと、うちのトップの判断です。

チャン (笑)

鳶 何か秘訣があるんでしょうか？ここ3か月におけるリオン電池の新製品発表は尋常じゃない。

チャン 秘訣？そうですね。強いて言えば、人です。人？

チャン そう。会社は人でできています。だから優秀な人を集めれば、優秀な会社になる。子供でもわかる算数です。

鳶 優秀な人？・・・そうですね。

チャン 1年前、とても優秀なエンジニアに入ってもらいました。ジアンと言います。

鳶 ジアンさん？
チャン はい。

レイ、野間を連れて入ってくる。

鳶、野間を見て仰天する。

野間は平然としている。

チャン ああ、ちょうど来ました。
レイ ジアンミンイエ。ハイミのトップエンジニアです。
チャン ジアン、この人、（名刺を見ながら）松川電器の蔦。これから色々お世話することになります。仲良くしなさい。
野間 はい。
蔦 野間だよな？
野間 （名刺を出しながら）初めまして。ジアンです。

野間、名刺を差し出す。

蔦 山東電機で開発した技術は山東電機のものだ。
野間 何を言ってるのか私にはわかりません。
蔦 技術の横流しは法令違反だ。
野間 ハイミで開発した技術はハイミのものです。なぜなら、私が、ここ（頭）で開発したんですから。
蔦 俺は乗組員の力を信じるよ。

蔦、手を差し出す。

溶暗。

幕。